

(2) 地域環境保全取り組みと成果

① 竹名地区・ホタルの里づくりが実現

私たちの活動のテーマの一つが、“ホタルの舞う高校”を地域に発信しながら、環境保全活動を地域に広げていくことである。

2014年、ようやく地区全体との連携による、「竹名地区・ホタルの里づくり」が実現した。竹名地区では前年まで、竹名川の一部でゲンジボタルが飛んではいたが、数は少なく、以前のような群生地を復活させたいという願いがあった。その竹名地区の区長さんから、門高ホタルプロジェクト班と連携して、農薬の混入しない少し上流の川で「ホタルの里づくり」をしたいとお話があった。私たちはまず、地区の人達が集まる地区の総会で、ホタルプロジェクトの活動を発表した。その後その川で、地域の人達と清掃活動や余分な木の伐採を行い下流で採取したカワニナをみんなで放流した。また、竹名地区の親ボタルを採取して、産卵・孵化させ、生物室で飼育した。11月にみんなでその幼虫を放流し、翌年の5月にたくさんさんのゲンジボタルが竹名地区のホタルの里で飛んだ。



カワニナの採取



清掃活動



カワニナの放流

② 西門川小学校・西門川中学校・三河内小中学校との交流

私たちは2013年、門高で産卵・飼育したゲンジボタルの幼虫500匹を持って西門川中学校に行き、西門中の全校生徒に飼育法を指導した。その後西門中でも、上陸、羽化に成功しさらに2000匹の孵化にも成功した。現在は西門中でも、自分達で孵化させた幼虫を飼育し、門高のように完全飼育に取り組んでいる。

また西門川小学校との交流は今年で6年目になる。昨年も11月に門高生によるホタルの出前授業と小・中・高合同の幼虫の放流（三ヶ瀬川に）を実施した。



飼育法を指導



ホタルの出前授業



三ヶ瀬川に放流



小中高合同で…

③ 「MRT環境賞」受賞 夕刊デイリー「明るい社会賞」受賞

2013年の3月、県内で環境保全活動に取り組んでいる個人・団体に贈られる「MRT環境賞」を受賞。完全飼育を通して、命の大切さを学んでいる点、活動が長く継続されている点、活動が地域に広がる可能性を持っている点などが認められての、大変嬉しい受賞となった。

2015年には、地域に貢献する個人・団体に贈られる、「夕刊デイリー明るい社会賞」を受賞した。